

ダイバーシティと

マジョリティ/マイノリティと

特権と交差性 (インターセクショナルリティ)

のさらなる理解について

ダイバーシティ、マジョリティ/マイノリティや、交差性 (インターセクショナルリティ) という言葉は広がっているが、早くも「ポリコレだ」といった批判が多くあるし、ネットでは狭い理解の言葉紹介がほとんどであると感じている。そこに「弱者男性のフェミニズム攻撃」や「ポリコレ問題」、「トランスジェンダーの権利と女性の安全の対立問題」なども関連している。今回は、通常の単純な理解の問題点を提起し、私の主流秩序論を使った理解の有効性を提起したい。

2025 3/5 | WED |

10:30 — 12:30

場 所 西3号館 コミュニケーションスクエアII (108号室)

対 象 和歌山大学の教職員のみ

講演者 伊田 広行 氏

(DV加害者教育プログラム(NOVO)運営者/立命館大学大学院非常勤講師)

大学でジェンダー論等を担当するかたわら、各地でDV/デートDV(ストーカー)防止教育をしている。また、大阪でDV加害者教育プログラム(NOVO)を運営している。シングル単位論に加えて、最近は、主流秩序論を展開し、根本的な改革を提起している。2024年度中に、15冊の「主流秩序視点によるジェンダー論講義録」を出す予定。

主な著書に『「DVと虐待」対策・改善提言 2020』(Kindle, オンデマンド印刷書籍、2020年3月発行)、『シングル単位思考法でわかる デートDV予防学』(かがわ出版、2018年)、『閉塞社会の秘密 — 主流秩序の囚われ』(アットワークス、2015年4月)など。